

## 第 5 章 プログラム評価（レビュー）

プログラム評価（レビュー）は、第 2 章で述べたとおり、業績測定の結果や社会情勢等を踏まえ、実施中の施策についてテーマを選定し、総合的で掘り下げた分析・評価を実施することにより、施策や業務実施の見直し、改善につなげるものです。

国土交通省では、政策課題として重要なものや、国民から評価に対するニーズが高いものなどの観点から、平成 13～17 年度までの今後 5 年間に実施予定の 29 のテーマを選定するとともに、13 年度着手の 11 テーマについて、関係部局で検討が進められました。

気象庁が国土交通省の政策評価で実施するプログラム評価のテーマは、次の 2 つであり、14 年度からその進め方や手法について検討することとしています。

「火山噴火への対応策 有珠山・三宅島の経験から 」

【平成 14～15 年度】

「台風・豪雨等に関する気象情報の充実 災害による被害軽減に向けて 」

【平成 15～17 年度】

また、これら以外の国土交通省が行うプログラム評価のテーマで、気象庁に関係するものについては適切に参画していく予定です。